

平成19年（2007）9月6日～10日

平成19年度（2007）

第3回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表

平成19年度（2007）第3回出雲市議会（定例会）一般質問通告一覧表 目次

9月 6日（木） 10:00 開会			9月 7日（金） 10:00 開会			9月10日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	高野成俊	1～3	1	長廻利行	12～13	1	山根貞守	21～24
2	長岡幸江	3～4	2	多久和康司	14～15	2	曾田盛雄	24～26
3	大国陽介	4～6	3	遠藤力一	15～16	3	福代秀洋	26～27
4	米山広志	7	4	珍部全吾	16	4	荒木孝	27
5	石川寿樹	7～9	5	原隆利	17	5	板倉一郎	28～29
6	牛尾尚義	9～10	6	勝部順子	17～19	6	萬代弘美	29～30
7	坂根守	10～11	7	松村豪人	19～21			

# 平成19年度（2007）

## 第3回出雲市議会（定例会）一般質問通告

質問者	12 高野成俊		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲ゆうプラザの死亡事故について	1. ゆうプラザでの死亡原因は何であったのか。 2. 安全管理体制はどのように行われていたのか。 3. 事故の責任をどのように考えているか。 4. 被害者への補償の対応は。 5. 今後の安全管理体制をどの様に図られるのか。 6. 市長の事故発生時の対応について。	市長	
2. 大津町来原地区の墓地問題について	3月議会において大津町来原地内に建設中の墓地建設者側と地域住民とのトラブルについて伺い、行政よりその対応策を伺った。その後の状況について伺う。 1. 事業者側と住民側とのトラブル解消に向けた交渉経過と行政の関りについて伺う。 2. 安全管理委員会設置の提案も過去なされてきて、取り組んでいく旨の答弁を得ていたが、事業者側と住民側の合意が図られているのか伺う。 3. 今後、あらゆる開発問題に対し、住民と	市長	

	<p>の合意は欠くことの出来ない課題です。一般建設物、公共建設物、また公共性の高い建設物など、その区分けにより行政の係わり方も違って来るはず、今回の事案が悪しき前例とならないよう再度墓地設置の為の条例の制定を提案します。</p>		
<p>3. 中山間地域をはじめとする過疎少子高齢化地域対策について</p>	<p>1. 中山間地域の定住対策について  中山間地域は、国土の7割にも及び、食糧生産や水源の涵養地域であり、森林資源をはじめ、生態系の根幹であることから、その地域を守るコミュニティを維持することは重要なことです。市内では半世紀前から人口が半減している地区が中山間地域をはじめ多くあり、該当地区では自治協会をはじめこの過疎・少子高齢化対策に問題意識をもって取り組んでいる状況です。以下・・・中山間地域の定住対策を行政としてどのように考えておられるのか。</p> <p>2. 定住対策の為の住宅政策について  定住対策のひとつとして住宅政策があげられ、市も地域フォーラムなどで要望がなされていると思うが、過疎地域対策の為の住宅政策について市の考え方を伺う。(子育て世代を対象とした一戸建て公共住宅を提案します)</p> <p>3. 公共交通対策（バス路線）について  人口の減少・高齢化地域での交通政策については、過去三種路線の運営費補助や市の委託運行をはじめ、昨年末は上津、</p>	<p>市 長</p>	

	<p>稗原地区においてデマンドバスの試験運行をされるなど、高齢化地域への交通手段の確保として取り組んでいただいていることに敬意を表します。しかし、今日までのバス乗車率やデマンドバスの利用状況を検証すると、利用者のニーズとあっていない部分も有り、費用対効果の面から、ニーズにあった運行形態が望まれます。地域循環型の乗り合いバスにより利便性の向上と利用者増につながると考えるがどうか。</p>		
--	--	--	--

質問者	17 長岡幸江
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
<p>国・県の支援事業導入措置について</p>	<p>1. 支援事業メニュー各種の補助率、成果指標、算定基準、対象等について</p> <p>2. 各部門における導入メニューと成果目標、予算編成、実績・評価と、今後の取り組み方針を伺う。</p> <p>*政策企画部門（定住支援・地域情報） *総務部門（交通政策・防災・人権同和） *地域振興部門（地域振興・市民活動支援・男女共同参画推進・少子対策） *文化観光部門（観光政策・芸術文化振興・文化財・スポーツ振興・国際交流）</p>	市長	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>*健康福祉部門（福祉推進・健康増進・食育推進・医療政策）</li> <li>*環境事業部門（環境保全・資源リサイクル）</li> <li>*産業振興部門（商工振興・農業支援・水産振興）</li> <li>*建設事業部門（道路建設・道路河川維持・農林基盤）</li> <li>*都市整備部門（都市整備・まちづくり推進・大社門前町整備・街路）</li> <li>*上下水道部門（水道施設・下水道建設）</li> <li>*教育部門（学校教育・教育施設・図書政策・学校給食・幼児教育）</li> </ul>		
--	---	--	--

質 問 者		1 大 国 陽 介	
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. ゆうプラザで起きた死亡事故について	<p>1. 今回の事故で、安全確保のための体制や危機管理意識が問題視されている。出雲市としての責任をどのように受けとめているのか。あわせて、事故防止にむけた決意を伺う。</p> <p>2. 行政として、指定管理者に対するチェック機能が十分に果たされていたのか疑問である。管理運営に対するチェックが、どのような頻度で、どのようなやり方で行われていたのか伺う。</p> <p>3. 現在の体制を徹底して検証し、ロデオマ</p>	市 長	

	ウンテンやウォータースライダーには、スタート地点と着水地点に監視員や指導員を配置すること、入場制限や管理体制の強化を含め、安全第一の立場で見直すことを求めるが、いかがか。		
2. 指定管理者制度の問題点と公共施設のあり方について	公共の施設は、「住民の福祉を増進する」施設であり、行政が責任をもたねばならない施設である。多くの施設で、指定管理者制度が導入され、多種多様な団体がその管理運営にあたっているが、施設の安全管理や従業員の働く環境に影響も出ている。すべての公共施設の総点検と同時に、指定管理者制度の検証も必要と考えるが、いかがか。	市長	
3. 教員の勤務状況と労働環境の改善について	1. 教員の多忙についての現状をどう受けとめているか、実態調査を踏まえた改善策を求めるが、いかがか。 2. 学校現場にやむを得ず、私物パソコンが持ち込まれる状況があり、教員の費用負担や情報管理の点から問題がある。支給や貸与が望ましいと考えるが、いかがか。	教育長	
4. 住宅リフォーム助成制度の充実と継続を	1. 今年度は、昨年度までに比べ制度が後退した。今年度分は周知期間が短く、予定を超過した場合には「抽選」が予定されるなど、申し込みの抑制につながったとみられる。今年度分については追加募集を行い、超過分については補正予算で対応することを求めるが、いかがか。 2. 利用者からも業者からも喜ばれている制度であり、波及効果も大きい。来年度以降	市長	

	についても、助成事業を継続させ、一層の充実を求めるが、いかがか。		
5. 小規模建設業者の仕事確保のために「小規模工事希望者登録制度」の創設を	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出雲市において、現在、小規模建設業者の仕事確保にむけた取り組みがあるのかわかるのか伺う。</li> <li>2. 自治体が発注する小規模の修繕、改善工事を地元の小零細建設業者に発注する「小規模工事契約希望者登録制度」が全国 338 自治体に広がっている。出雲市でも実施されることを提案するが、いかがか。</li> </ol>	市長	
6. 総合雇用情報センターの充実で一層の就業支援を	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出雲市における最近の失業率及び全労働者に占める非正規雇用の割合はいくらか。</li> <li>2. 総合雇用情報センターの最近の利用状況はどうか。あわせて、センター開設以降、就職に結びついた件数は何件か。</li> <li>3. 就業支援などの他に、労働相談なども行う必要があると考えるが、いかがか。</li> <li>4. 雇用情勢は依然厳しい状況にある。財源である基金がなくなった後もセンターを継続させるべきであると考えているが、いかがか。</li> </ol>	市長	



質 問 者	22 米 山 広 志
-------	------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 差海川護岸修繕	1. 護岸対策 2. 地すべり対策	市 長	
2. 県土連（島根県土地改良事業団体連合会）	1. 市長は理事です。 県土連に対する所感 2. 主な事業 3. 農地・水・環境保全向上活動支援事業の 県土連の関り 出雲市で採択承認された組織数、総支援 金	市 長	
3. ごみ問題	1. 6月24日の衣類・布団の品目別回収量、 回収後の処理、利用方法、経費 2. 今なぜごみ収集手数料の見直しなのか	市 長	

質 問 者	9 石 川 寿 樹
-------	-----------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. バイオエタノールと飼料用米の増産対策	1. 先般8月2日に「出雲市バイオエタノール研究会」が立ち上がったが、その目的、構成メンバー、活動内容、進捗状況、今後のスケジュールなどについて伺う。 2. 世界的にバイオエタノールが増産されるなか、一方でトウモロコシがエタノールの原料に向けられたことから、飼料価格が高	産 業 振 興 部 長	

	<p>騰し、国内の畜産農家は大打撃を受けている。エタノール生産をあながち否定するものではないが、喫緊の課題は転作田や遊休農地などを活用して飼料用米を増産し、安価な飼料を安定的に畜産農家へ供給することにあると思うが、どのような考えをお持ちか。</p> <p>3. 食料自給率の向上を図るためにも、飼料用米の増産を農政の柱とするよう、国に働き掛ける考えはないか。また、市独自の支援策を講ずる考えはないか。</p>		
<p>2. 厚生年金会館の取得について.</p>	<p>1. 6月11日開催の全員協議会の場で、年金・健康保険福祉施設整理機構が売却を予定している島根厚生年金会館（ウェルシテイ）を市が主体的に取得し、運営する方針が示されたが、このことについての市の考えを伺う。</p> <p>2. 市が主体となって取得する理由として、これまでの設立の経過や隣接する市民会館との一体的な活用などが挙げられているが、これに関する具体的な説明を求める。 また、同整理機構では出来るだけ高く売却するため、一般競争入札の考えもあるようだが、仮に民間が取得した場合、どのような弊害が考えられるのか。</p> <p>3. 今後の取り扱いについて、商工会議所、JA、有志企業などと協議を行い、方針を決定するとの考えも示されているが、その後、第三セクターを設立するなどの案も検討されているのか。</p>	<p>市長</p>	

	<p>4. 仮に市が取得した場合、土地・建物を含め、どれほどの取得価格が見込まれるのか。また、厳しい財政状況にある市の財政を圧迫する要因にならないか。</p> <p>5. 財政的負担を軽減するためにも、同施設の運営方法がポイントになると思うが、どのような運営を考えているのか。また、ミニ公募債を発行するなど、一般市民の地域貢献を求める考えはないか。</p>		
--	--	--	--

質問者	23 牛尾尚義
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 学力調査の結果はどの様に公表するのか	<p>1. 調査の目的は何か。</p> <p>2. 調査の結果について出雲市はどこまでどのような方法で公表するのか。</p> <p>3. 国の目的はさておき、出雲市ではこのデータをどう生かそうとしているのか。</p>	教育長	
2. パイプラインは予定どおり完成するのか	稗原ダムに関連するパイプライン敷設工事の進捗状況を伺う。	市長	
3. 林業3F事業の中身はどうなったか	林業3F事業については、年度当初おおまかな構想と予算が示されただけで、具体的なことがわからない。その後の経緯について説明されたい。	市長	
4. 空散を中止した神西地区のマツ枯れ対策は	<p>1. 空散を中止した理由</p> <p>2. 中止は今年だけか。</p> <p>3. 中止したことによりマツ枯れが進むと予測</p>	市長	

	されるが、対策はあるのか。 4. マツ枯れとは別に、マツ材の活用が公共施設に於いて進められないか。		
--	--	--	--

質 問 者	18	坂 根 守
-------	----	-------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 幼小中学校における諸問題への対応は十分か	<p>1. 小中学校における親の理不尽な要求や抗議に対する学校や教育委員会の対応は十分にできているのか。</p> <p>子供の通う学校に理不尽な要求や抗議を行う親に、全国の公立小中学校や教育委員会が苦慮している実態がある。主要都市の教育委員会では、こうした親の実例を把握し、クレームに対応するための専門職員の配置や教育研修といった対策を実施している所もある。本市ではこのような要求があったのか、あったとすれば件数は何件か、対応は十分にできたかを伺う。</p> <p>2. 給食費の未納対策への取り組みはできているのか。</p> <p>全国的な問題であり金額も多額となっている、裕福な家庭でも未納者が多いという。本市では幼稚園・小学校・中学校それぞれ件数は何件か、金額はそれぞれいくらか。解決方法としてどんな対策を取っているのかを伺う。</p> <p>3. 小中学校のホームページの更新が遅れている学校がある。教育委員会の指導が不十</p>	市長	

	<p>分ではないのか。</p> <p>平成17年の12月議会でこの問題を一般質問し「校長会で更新内容についてお願いし、タイムリーなホームページになるよう学校現場に指導してまいります」の答弁をいただきましたが、匿名市民の方から手紙を頂き、現実には更新されていない学校があると指摘を受けました。その後の指導は十分か、49校すべてタイムリーな更新ができるようにできないかを伺う。</p>		
<p>2. 6月都内で温泉施設の爆発事故発生、市内温泉施設は大丈夫か</p>	<p>1. 今年6月19日に東京都渋谷区で温泉施設の爆発事故が発生、本市にも多くの温泉施設があるが大丈夫か。</p> <p>三人の死亡事故となった温泉施設の爆発の原因は、関東地域の地下の地層水に、天然ガスが溶け込んだ「南関東ガス田」があります。源泉とともに、可燃性の天然ガスも出るため、今回この天然ガスに何らかの原因で引火したと考えられます。本市にも多くの温泉施設があるがこのような心配はないのか、また天然ガスがあるとすれば対策は十分に取られているのかを伺う。</p> <p>2. 温泉施設のレジオネラ菌対策は十分か。</p> <p>循環型の温泉施設ではレジオネラ菌対策をしっかりと取らないと細菌症にかかれば死にも至るといわれています。平田の「ゆらり」、多伎の「いちじく温泉」は源泉掛流しですが、多くの施設は循環型です、指導対策は十分かを伺う。</p>	<p>市長</p>	

質 問 者	30 長 廻 利 行
-------	------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 厳しい財政状況下における主要施策の展開	<p>1. 18年度決算から顕著である悪化する財政指標、また、一般会計及び特別会計を合わせて前年度を2%上回り、1927億5千万円となった地方債残高など、本市の置かれている財政状況についてどう判断しておられるか伺う。</p> <p>2. 合併後3年目、まさに合併効果の真価を問われる極めて重要な年である。合併前からの積み残し事業をはじめ『出雲の国づくり』を標榜されてのグランドデザインに掲げられた重点プロジェクト事業の事業化も急がれる。しかし、現在の財政状況からすると、立ち上げされているこれらの事業化は極めて困難な気がする。どの事業も必要性を検証の上計画されているものですが、今後、早急に事業実施の緊急度、優先度、計画の成熟度等を勘案するなどして、年次計画の再考が必要と考えるが市長の見解を伺う。</p> <p>3. 中期財政計画の見直しについて伺う。 21世紀出雲グランドデザイン及びその基本計画に基づき、平成18年3月に策定された中期財政計画にのった事業計画がされていると思う。しかし、行政の諸施策も地域住民とのかかわりの中で、日々動向を</p>	市 長	

	<p>続け、市長曰く『前進、前進』を続けている訳で、常に見直し作業が必要と考える。</p> <p>行財政改革のさなかにあつて、作業が進められていると伺っている中期財政計画の見直し作業の状況について伺う。</p>		
<p>2. 行財政改革における補助金の見直しについて</p>	<p>1. 補助金等については、合併協議のなかで見直し統一されたもの、合併後に見直し統一されたものなどがあるように思うが、合併後、3年になる今日、現在までの見直し状況はどのようになっているのか。</p> <p>また、平成19年度予算における補助金、助成金等の件数と予算額はいくらか。</p> <p>2. 行財政改革の一環として、今後どのような方針により、補助金等を整理される方針なのか。</p> <p>3. 個々の補助金等については、それぞれの目的、設置された経緯や交付を受けている団体等の事情も異なると思うが、地方交付税の削減や市税収の伸び悩みなど、市財政を取り巻く情勢が一段と厳しさを増しているなか、補助金等について、特に市単独の補助金、助成金等を一律に一定程度のカットをすることもこの際、やむを得ないと思われるが、市としてどのように対応される考えなのか伺う。</p>	市長	

質 問 者	28 多久和 康 司
-------	------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 温暖化防止の対応は	<p>1. 温暖化防止の対応について市長の考えを</p> <p>2. 省エネ対策と効果は</p> <p>3. 緑化推進について</p> <p>① 公共の場所における木の植樹や緑化事業などについて</p> <p>② 市民（家）や事業所における木の植樹や緑化事業などについて</p>	市 長	
2. 環境基本計画の取り組みについて	<p>1. 施策を進めるうえで、市職員が率先して姿勢を示していくとして、5つの率先行動を設定し推進とあるが、市民、事業者への波及効果を、現状と今後について</p> <p>① 3km未満のマイカー通勤自粛の推進</p> <p>② 定例美化活動の実施拡大</p> <p>③ 割りばし使用自粛と「マイはし」持参の推進</p> <p>④ 家庭版環境ISO登録の推進</p> <p>⑤ マイボトルの持参運動</p> <p>2. 計画の進捗状況の指標として、施策の柱ごとに具体的な数値目標を設定されているが、現状と今後について</p> <p>廃棄物排出量の削減率や廃棄物再資源化率、廃食用油回収量など</p> <p>3. 進行管理については、高い実行性を確保しているとして、市民、事業者については、エコモニター制度を早い段階で創設し、行</p>	市 長	



	動指針の実施状況について評価できるようにするとあるがどうか		
3. 放課後子ども教室推進事業について	本年度の開設は、今後の取り組みについて	市長	

質問者	3 遠藤力一
-----	--------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 生活保護の現状は	<p>1. 出雲市における最近の生活保護の動向および問題点 全国および類似団体などと比較して検証</p> <p>2. 就労自立支援について どのようなプログラムを組み誰が担当しその成果は。 母子加算が段階的に廃止されるが、就労などは進んでいるか。</p> <p>3. 当市において「水際作戦」などはあるか、ケースワーカーは充足しているか</p> <p>4. リバースモーゲージや有期保護制度など新たな制度について</p>	市長	
2. 下水道・合併浄化槽について	<p>1. 下水道・集落排水・合併浄化槽の普及状況と今後の計画</p> <p>2. 下水道・集落排水の接続率</p> <p>3. 未接続の場合の罰則規定は</p> <p>4. 認可区域内の未供用地区における合併浄化槽設置の取り扱いについて</p>	上下水道局長	

3. 農振除外について	1. 農振除外の状況 2. 農振地域で先に除外してある土地・地域の有無 3. 担い手、営農組合の増加で宅地に転用できる土地が無くなるのでは 4. 除外申請の受付時期は 5. 建売分譲目的地の農振除外の認可基準面積の緩和について	産業振興部 長	
-------------	---	---------	--

質 問 者	32 珍 部 全 吾			
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事	
1. 7月29日参議院選について	島根も含め全国的に自民党の惨敗に終わった結果について 1. 市長の感想と意見 2. 今後日本の政治の流れはどうかと思われるか。 3. 今後の国政選挙に対する市長の関りについて	市 長		
2. 歴史教科書問題について	1. 市長の基本な考えは 2. 今後の世代を担う若者達に事実の歴史を教えるべきと思うが、市長の所感 3. 出雲市独自の歴史教育をされる考えはないのか。	市 長		

質 問 者		26 原 隆 利	
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
ゆうプラザにおける児童死亡事故	1. 事故発生の状況 2. 遊泳監視員の配置状況 3. 設置者（市）の責任と管理責任（指定管理者） 4. 施設構造上の問題か運営管理上の問題か 5. 一般論として水の事故における保護者の監督責任 6. 設置責任者として、事故発生時の市長の対応 7. 指定管理者制度の問題点 8. 市の危機管理能力 9. 再発防止のためにこの教訓をどう生かすか	市長	

質 問 者		21 勝 部 順 子	
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 保育料未納問題について	全国の認可保育園で 2006 年度に保育料の滞納が 89 億 7 千万円に上ることが、厚生労働省初の全国調査で 8 月 22 日にわかりました。保護者の 3.7% に当たる約 8 万 6 千人が滞納。滞納が増えたとする自治体の内 65.9%	市長	

	<p>が保護者のモラルの低下を原因に挙げています。</p> <p>厚生労働省は同日付で対応強化を求める通知を各自治体に送付しました。滞納の初期段階での家庭訪問や悪質なケースへの差し押さえ徹底などを要請しています。</p> <p>島根県内の保育園では本来の保育料の4.5%、6,000万円の滞納があることがわかりました。出雲市での状況について伺います。</p> <p>1. 出雲市の保育料の徴収状況について</p> <p>① 合併後の平成17年度、18年度の徴収状況</p> <p>② 合併前の、2市4町の過去3年間の徴収状況</p> <p>③ 保育料の収納方法</p> <p>④ 保育料滞納額の傾向と原因についてどのようにお考えか伺います。</p> <p>⑤ 「未納の分については税金で補うことになる」と言った報道もありますが、どのように処理されているのか伺います。</p> <p>2. 保育料滞納者に対する対応と、今後の取り組みについて</p> <p>① 多額の保育料滞納をかかえている自治体では、さまざまな取り組みを開始しています。出雲市では、保育料の滞納者からの徴収についての取り組み状況を伺います。また、従来に対応で効果があったのか、その状況についても</p>		
--	--	--	--

	伺います。 ② 厚生労働省からの滞納者への対応強化の要請に対して、今後どのように取り組まれるのか伺います。		
2. 妊産婦無料健診の拡充の早期実施を（現在2回から5回以上に）	厚生労働省は、今年度から妊産婦無料健診の回数を5回に拡充し全国の自治体に交付しました。全国の多くの自治体でも早いところは4月から取り組みを開始しています。松江市では、6月議会に国の5回に対し2回分上乗せで7回分の健診を無料で実施を決めました。浜田市でも5回の無料健診を4月から実施をすでにされています。 西尾市長から、3月議会の質問に対し検討をすると答弁いただきました。これまでの検討状況と、いつから実施されるお考えか伺います。一日も早い実施を望みます。	市長	

質問者	2 松村豪人		
質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 「防災月間」にあたり市の防災計画を問う	災害対策基本法に基づく出雲市地域防災計画について  1. 災害時の情報伝達について 災害に際しては、自らの安全は自らで守るという認識に立つことが重要。	市長	

	<p>このため、当該防災計画には、市民の果たすべき役割として、「正確な情報の把握及び伝達」について明記されている。</p> <p>① 市内山間地帯や沿岸地帯は、災害の危険性が高く、しかも地理的特性により孤立する可能性もある。</p> <p>これらの地域には携帯電話の不感地域が存在し、情報伝達の面で防災計画上問題があるが、どうか。災害が発生し一刻をあらそう場合、どのような情報伝達あるいは対応を想定しているのか。</p> <p>② 防災上、携帯電話の不感地域については解消すべき。市の方針如何。</p> <p>1. 津波による災害予防について</p> <p>① 既存の海岸保全施設の点検整備の時期</p> <p>② 危険箇所が存在するが、把握しているのか。どのような対応になるのか。</p> <p>③ 沿岸住民への情報伝達手段として、現在どのようなものがあるか。不十分な地域については、今後どうするのか。</p>		
<p>2. 「安全で安心なまちづくり」条例でシカ被害をどう解決するか</p>	<p>「出雲市安全で安心なまちづくり条例」について、あらゆる脅威から市民を守ろうとする基本理念は評価できる。しかし、北山山系、湖北山系におけるシカ被害が後を絶たない。むしろ年々深刻化している。</p> <p>山林や田畑の被害はもとより、庭園や花壇まで被害を受けるため、住民は家屋も網で囲み、その中で生活を余儀なくされている状</p>	<p>市長</p>	

	<p>況。道路も安心して通行できない。</p> <p>1. シカ被害が後を絶たないことについての市長の所感。 山林や田畑の被害のみならず、地域内の道路さえ安心して通行できない状況をどう受けとめるか。</p> <p>2. このような深刻な状況のなか、本条例の制定により、シカによる被害にどのような効果が期待できるのか。</p> <p>3. 「市民の意向及び地域の状況を踏まえて」実状に応じた総合的な取組みとは、どのようなことか。</p>		
--	---	--	--

質問者	4 山根貞守		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 投票区域及び投票所の見直しによる影響について	<p>先の参議院議員選挙から出雲市の投票所が従来の、119投票所から1増46減の74投票所となった</p> <p>見直し指針では、投票区に於いて有権者数が1,000人未満を統合、又1,000人以上の投票区は投票所までの距離を3km以下であれば統合するとあるが、改正後の最大の投票区の有権者数は旧塩冶地区の第4投票所の4,241人で、最低の有権者数は旧大社町の第74投票所の76人である。又投票区の面積も最大が旧多伎町の第61投票区の25.65平方キロメートル、最小が</p>	市長	

	<p>今市地区の第1と第3投票区がいずれも0.5平方キロメートルである。</p> <p>次の点について伺う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. この度の投票区域及び投票所の見直しは、市全体の均衡を図ることを目的に実施されたが、本当に均衡がとれているのか。</li> <li>2. 投票所までの距離が遠くなった有権者の数は何人であったか。</li> <li>3. 見直し指針では「有権者数が5,000人を超える投票区は、分割を検討する」となっているが、有権者数が4,951人の四絡投票区の旧21投票所を新たに21と22投票所に分割しなければならなかった訳を伺う。</li> <li>4. 見直しの目的の2点目に「行財政改革の一環として選挙経費の節減を図るため」となっているが、先の参議院議員選挙における経費削減はいくらであったのか。</li> <li>5. 出雲市及び出雲市選挙管理委員会に、意見や苦情はなかったのか。</li> </ol>		
<p>2. 斐川町との消防業務の受委託について</p>	<p>斐川町との「消防、救急の取り扱い」については合併協定書により「斐川町の消防、救急業務については受委託方式とし、その期間については、3年以内のできるだけ早い時期までとする。」となっている。</p> <p>それが今年の4月22日の斐川町長選挙の結果により、早速23日に市長は記者会見を行い「合併協議会に入る思いが明確になれば、6月に決まる様努力する」と表明されている。又8月21日の山陰中央新報の報道によると</p>	<p>市長</p>	



	<p>「消防受委託3年延長で首長合意」と報じられていた。</p> <p>そこで次の点について伺う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受委託期間は3年以内の出来るだけ早い時期までとなっていたが、斐川町は合併から今日までに単独消防の準備として、どのような努力がされたのか又なぜ単独で出来ないのか期間延長を求めておられるのか伺う。</li> <li>2. 消防、救急の受委託期間の3年延長の根拠は何か。</li> <li>3. 出雲市・斐川町との「広域連携の推進研究会」とはどう言う研究会なのか。</li> </ol>		
<p>3. 地籍調査の進捗と測量図の精度について</p>	<p>現在登記所に備え付けの古い土地台帳及び切図は、明治初期に地租改正に伴って作成されたものであり、切図は縮尺もない「だんご図」と言われ全くの不正確なものであります。こうした事から、昭和26年から国や自治体で地籍調査が実施され始めました。旧湖陵町でも昭和47年から地籍調査を開始し昭和63年4月に完了いたしました。しかし当時の測量の主体は、航測併用法測量か平板測量であり測量制度も縮尺1/500で乙1の精度が、10mで約40cm以内、又乙2の精度が10mで約62cm以内の誤差の範囲であれば良いという精度であります。しかしながら、今登記所で求められていますのは限りなく現地原寸に近い精度を要求されています。</p> <p>今、分筆登記に利用される測量図面は、測量業者又は土地家屋調査士に於いては、衛星利用測位システム（GPS）を利用した図面が主</p>	<p>建設事業部 長</p>	

	<p>体で行われている。登記所備え付けの地図と大きく精度が違い、分割登記をする際にまず地図にずれがあれば地図訂正登記、次に地積更正登記それで初めて分筆登記が出来るといった様な状況であります。この過程では、該当する土地の周囲の土地所有者の立会又は承諾書が求められる等、土地所有者にとっては精神的にも労力的な面からも大変な苦労がある。それにもまして経費の面に於いても多額の経費が必要である。</p> <p>そこで次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出雲市の地籍調査の進捗状況と精度について</li> <li>2. 出雲市が行う公共工事に於いて地図訂正又は地積更正を行った筆数は何筆あったのか。</li> <li>3. 今後の問題として、精度の悪い地籍調査区域の対応をどの様に考えているのか伺う。</li> <li>4. 今後法務局とこうした点について協議をしていく考えがあるのか伺う。</li> </ol>		
--	--	--	--

質問者	10 曾田盛雄
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 小、中学校の管理責任は	合併して2年余りが経過した。平田地域の小、中学校の施設整備は鋭意努力され、先の明るい兆しの中で、教職員の他に、市の方か	教育長	

	<p>らも、昔の児童、生徒数に比べて大幅に減少傾向にある中で、事務、その他の職員数は増えている。反面、少子化の影響でPTA、保護者は減っている。学校への奉仕活動（草刈り）などについても、もう少し学校側で対処して欲しいという声が多くなってきているのも事実である。そこで</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 校庭、運動場、校舎の周辺部については、誰の責任で草刈り等すべきか。 学校長の指導性、命令権はどの程度あるのか伺う。</li> <li>2. 子供達の安全安心を考えた場合、校門から出れば学校の責任はないのか。通学路についても距離的にも、どうなのか伺う。</li> <li>3. コミュニティセンター、各小、中学校に連絡、配達用の車が配置してあるが、経費削減を考えた場合、本当に必要なのか、コミュニティセンターと共有は出来ないのか伺う。</li> </ol>		
<p>2. 中、山間地の地域農業は守れるか</p>	<p>国は、21世紀新農政 2007 のポイントとして、農林水産業の潜在能力を最大限に発揮させ、21世紀の産業に、国民が求めるおいしく安全な食料の安定供給を実現するとある。本市はどのように対応するのか伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地球温暖化対策等の資源・環境対策の推進の一環として、今年度から農地・水・環境向上対策事業も始まった。この制度は23年度末までの5年間としているが見直し延</li> </ol>	<p>市長</p>	

	<p>長はないのか。</p> <p>2. 本市は、出雲市道路、河川ふれあい愛護活動支援制度を設立され、地域の荒廃地防止の為、取り組んで来ているが、今年度から計画区域が重なると、ふれあい愛護活動は打ち切るとのこと。区域、場所によっては、市独自の支援で地域を守る必要があるのでは。</p> <p>3. 集落営農組織、担い手となる認定農業者がいない集落地に於いては、耕作放棄地が増えている。手当があるのか。</p>		
--	--	--	--

質問者	11 福代秀洋		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記事
<p>1. 出雲市環境基本計画における施策の推進に関して 地球温暖化防止の取り組みについて</p>	<p>出雲市環境基本計画では、地球温暖化防止に取り組み、様々な施策を推進することが謳われている。これについて、伺う。</p> <p>次の施策の、具体的な実施手法、年次計画、現状並びに達成目標・年次を伺う。</p> <p>1. 公共交通機関の利便性向上と利用促進、特に自動車からの利用転換 2. 交通渋滞解消に向けた取り組みの実施 3. 3km未満のマイカー通勤自粛（市職員、市民、事業者）</p>	市長	

	<p>4. ノーマイカーデーの推進</p> <p>5. エコドライブの実施</p> <p>6. 低公害車・低燃費車の普及</p>		
<p>2. 阿国座の投資効果を伺います。</p>	<p>阿国座建設が、出雲市に与える効果について伺います。</p> <p>1. 阿国座建設による、観光客の増加数をどのように試算しているのか。またその根拠を伺う。</p> <p>2. 阿国座建設による、経済効果をどのように試算しているのか。またその根拠を伺う。</p> <p>3. 阿国座建設の初期投資費用と維持管理費はいくらか。</p>	市 長	

質 問 者	29 荒 木 孝
-------	----------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
<p>1. 合併協定に基づく地域自治区、地域協議会について</p>	<p>新出雲市、発足してはや二年が経ちました。合併協定に基づき設置された地域自治区、地域協議会のこれまでの活動の成果について伺います。</p>	市 長	
<p>2. 公立保育所の民営化について</p>	<p>現在、出雲市公立保育所民営化検討委員会では市長の諮問に沿って鋭意、検討協議がされています。敬意を表しつつ、民営化の是非について伺います。</p>	市 長	

質 問 者	6 板 倉 一 郎		
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 斐川町との消防問題について	斐川町との消防問題について 1. 斐川町との消防問題について、現在斐川町との協議状況について伺う。 2. 現時点における市長の考えを伺う。 3. 市長が結論を出す時期は、いつ頃か伺う。	市 長	
2. 出雲市の財政について	1. 平成18年度から、平成20年度までの3ヵ年の中期財政計画について ① 平成18年度（初年度）が終わったが、昨年度の実績値と中期財政計画における計画値と差異がないか伺う。また、差異があった場合のその額と理由について伺う。 ② 主要事業計画について、件名および金額について変更がないか伺う。また、変更があった場合のその額と理由について伺う。 ③ 今後の見通しについて伺う。  2. 公債について ① 地方債の発行について、平成18年度より国の制度が、許可制から協議制度に変更になったが、どのようなものか。また、出雲市への影響はどのようなものか。 ② 住民参加型のミニ公募債が、全国の自治体で導入されている。出雲市でも、導入する考えはないか。	市 長	

<p>3. インフルエンザの予防接種について</p>	<p>インフルエンザ予防接種の取り組みについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 昨年度の市内におけるインフルエンザの発症数と予防接種数を伺う。</li> <li>2. 市の予防接種の取り組みについて伺う。</li> <li>3. 市の助成制度について、65才以上（一部60才から64才有）は助成があるが、小学生以下についても新たに助成する考えはないか伺う。</li> <li>4. インフルエンザの予防接種の料金が、医療機関により異なるのは何故か。また、市内における料金の実態について伺う。</li> </ol>	<p>市長</p>	
----------------------------	--	-----------	--

<p>質問者 20 萬代弘美</p>			
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
<p>1. 介護保険制度見直し実施1年半、高齢者の生活実態に即した介護保険料負担軽減など、緊急改善を</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護給付費の余りを使って、高齢者の生活実態に即した介護保険料負担の引き下げを行うこと。</li> <li>2. 生活保護以下で暮らしている人たちのために、市独自の減免制度を創設すること。</li> <li>3. 「新予防給付」や介護報酬の引き下げによるホームヘルパー、デイサービスの利用抑制や、「給付適正化」の名によるサービス利用を制限されたお年寄りの実態を把握し、必要な介護を確保するために公的責任で是正を行うこと。</li> </ol>	<p>市長</p>	

<p>2. 高齢者の命と健康、地域医療を守る立場で後期高齢者医療保険制度の改善にむけた努力を</p>	<p>1. 保険料減免制度の創設や、無保険者をうみだす資格証明書の発行は行わないことなど、改善策を。 2. 情報公開を徹底し、広域連合議会に市民の声をどのように反映していくのか。</p>	<p>市長</p>	
<p>3. 保育行政の充実を</p>	<p>1. 公立保育所は民営化しないで、育児支援の要として充実を。 2. 認可保育所への職員配置のための助成など、支援策の拡充を。 3. 国の全認可保育園へ看護師を配置する方針を受け、今後、市としてどのような対応を考えているのか。</p>	<p>市長</p>	
<p>4. 市民の参政権を奪う投票所の統廃合による投票所削減は中止を</p>	<p>市民の参政権を奪う投票所の統廃合による投票所削減は中止を。</p>	<p>市長</p>	